

内容と特色



1 教育基本法との関連

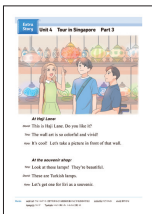
観点	内容と特色	該当ページ例
第一号 幅広い知識と教養 豊かな情操と道徳心	4人の中学生のストーリーを通じて、身の回りのことから社会や世界のことへと学習を進めることで幅広い知識と教養を身につけるとともに、登場人物の互いを思いやる姿から豊かな情操と道徳心を培うように配慮している。 - 実社会に即した多様な場面や豊富な素材を扱うことで、生活の中で実際に活用できる知識と教養を身につけられるように工夫している。	- Unit 全体 1年 p.45、70、2年 p.18、48、3年 p.18、46 など
第二号 個人の尊重 自主及び 自律の精神、勤労の尊重	- 教科書全体や各学年を通して「できるようになること」や各Unitの学習の流れを明示し、自主的・自律的に学習する態度を養うことができるよう工夫している。 - 国際問題や社会問題を考える上で、自分たちができることを考えたり、将来の職業生活についても意識したりすることができるキャリア教育につながる題材を取り扱っている。	1-3年 pp.4-5、巻末①-③など 3年 pp.61-69 など
第三号 正義と責任、男女の平等、 自他の敬愛と協力の尊重 主体的に社会に寄与する 態度	- 友達と伝え合う喜びを感じられる言語活動を設定し、グループで協力して課題に挑戦する活動を位置づけることで、他を敬愛し、協力を重んじる態度を養うように配慮している。 - ジェンダーレス制服を一部取り入れ、家事を協力して行う男女を描くなど、男女の社会的役割を平等にし、固定観念で性の区別をしないジェンダーへの配慮をしている。 3年生の目標を「これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。」とし、幅広い社会的な題材を取り扱っている。	- 全体 - 全体：1-3年巻頭⑤、1年 pp.114-115 など 3年全体：pp.16-17 など
第四号 生命を尊び、環境に寄与 する態度	絶滅危惧種、海洋プラスチックゴミ、持続可能な社会に向けたリポートなど、環境問題について主体的に考えられる教材を豊富に位置づけ、生命を尊び、環境の保全に寄与する態度を養うように配慮している。	3年 pp.8-17、p.70、pp.82-83 など
第五号 伝統と文化の尊重 我が国と郷土への愛情 国際社会に寄与する態度	2年生の目標を「自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。」とし、言語活動を通して伝統文化を尊重し、国と郷土を愛し、他国に向けて発信できる力を養うように配慮している。 1年巻頭の教材 Let's Be Friends! や付録教材 World Tour に、実在する世界の中学生の映像を収録するなど、国際理解を深めるためのさまざまな教材を位置づけ、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うように配慮している。	2年全体：pp.46-47 など 1年 pp.6-7、p.45、2年 p.48、3年 p.46 など

2 学習指導要領との関連

1 ▶ 教科の目標や内容との関連

観点	内容と特色	該当ページ例
1 知識の理解 コミュニケーションにお いて活用できる技能	- Unit 各 Part の本文で学習すべき言語材料を提示して「聞く」「読む」「話す」「書く」それぞれの技能でそれを活用できるようにしており、5領域のバランスや活動の一貫性が考慮されている。 - Unit 各 Part の基本文のコーナーや Active Grammar で文構造や文法等の知識を丁寧に整理し、活用できるようにしている。	- Unit 全体 1年 pp.56-57、2年 p.29、3年 pp.38-39 など
2 目的や場面、状況に応 じて、外国語で理解し たり表現したりできる力	- 言語活動では、コミュニケーションの目的・場面・状況を明示している。 - Unit の Goal や You Can Do It! で、理解したことを表現につなげる言語活動が工夫されている。「聞く・読む」については、聞いたり読んだりする目的を考えて、「話す・書く」については、伝える内容や構成を考えて、活動に取り組めるようにしている。	1年 p.27、34 など 1年 pp.34-35、128-129 など
3 外国語の背景にある文 化に対する理解 主体的にコミュニケー ションを図ろうとする 態度	- アメリカの友人とのオンライン通話、シンガポールへの旅などの Unit の題材や、海外の中学生と「学校生活」をテーマにした意見交換を行う You Can Do It! などを通して、外国語の背景にある文化に対する理解を深めることができるようにしている。 1年巻頭の教材 Let's Be Friends! と1年の World Tour 「世界の中学生」では実在する各国の中学生の映像で考え方や暮らし方に触れ、国際理解を深め、相手を尊重してコミュニケーションを図ろうとする態度を養うように配慮している。	1年 pp.72-81、2年 pp.49-57、3年 pp.44-45 など 1年 pp.6-7、p.45 など

4 5領域についてバランスのとれた力を養う

① 聞く 	5領域の言語活動をバランスよく配置し、視覚的にわかりやすいアイコンで活動の領域を示している。 - Unitの各Partは、左ページの本文で「聞く・読む」活動、右ページの言語活動で「聞く・話す・書く」活動と一貫しており、各Partでバランスのとれた力を養うことができる。 - それぞれの領域に特化した小教材や帯教材を工夫している。 - Unitは扉でUnit全体の音声を通して聞く活動から始まる。おおまかな内容をつかむことが目的で、まとまりのある英語を聞いて内容を推測することに慣れるよう工夫している。 - Unitの各PartやGoalのListenでは、必要な情報を聞き取る活動、話の概要を捉える活動、話の要点を捉える活動が系統的に位置づけられている。 - Daily Lifeでは、ラジオのニュース、アナウンス、電話での予定相談、留守番電話など、実生活に即した素材を取り上げ、実践的な英語の力を伸ばせるように工夫している。 - 教科書内の全ての「聞く」活動に、ネイティブスピーカーによる朗読音声や動画コンテンツを収録しており、ネイティブの英語を聞けるようにしている。	- 全体 1年 pp.28-29 など 1年 p.55、96 など - Unitの扉 - UnitのPart 2年 p.28、40 など  Let's Be Friends! ① (1年 p. 6)
② 読む 	- 各Unit本文の活動では、気づきを大切にしながら、内容についての質問に答えたり、音読したりすることで、小学校英語を経験した生徒が読む力をつけていけるように配慮している。 - Let's Readでは、段階的に読む語数を増やししながら、興味深い題材・多様な形式の文章を取り上げ、概要や要点把握など、目的に応じた英文の読み方を学べるようにしている。 - 発展的な読み物教材Let's Read Moreを各学年に設け、バラエティ豊かな文種や題材を選定し、無理なく豊富なインプットを確保できるよう構成している。 - Daily Lifeでは、イベントの案内、レシピ、美術館のオンラインツアーなど実社会に即した場面や題材から必要な情報を読み取る活動により、実践的な英語の力を伸ばせるように配慮している。 - 各Unitに補充用のリーディング教材Extra Storyを用意しており、生徒の理解や意欲に応じて取り組めるようにしている。	1年 p.28 など 1年 p.55 など 1年 pp.130-131 など 1年 p.113 など  Extra Story (2年 p. 54)
③ 話す(やり取り) 	- Unitの各PartのSpeakでは、学習した言語材料を使って、友達とお互いのことを理解し合うなどの目的で、情報や考えを伝え合えるように配慮している。 - Daily Lifeでは、道案内や電話などの特有の表現が使われる場面を設定して、教科書の例を参考にしながらペアでやり取りを考えて演じる活動が工夫されている。 - 帯教材Let's Talk!では、「This Is Me」、「My Life, My Future」、「My Opinion」という3つのテーマで1問1答から、2文以上で答える、といった活動を継続的にを行い、即興的なやり取りの力が育てられる。 - You Can Do It! や Let's Talk! に、Speaking モデル (動画)を用意し、言語活動を行う際の参考として視聴できるようにしている。	1年 p.31 など 1年 p.94 など 1-3年とじ込み Let's Talk! モデル動画 (3年とじ込み②) 
④ 話す(発表) 	- 各UnitのGoalやYou Can Do It! では、動画で学校紹介、おすすめのグルメ紹介、世界が抱える課題に関するプレゼンテーションなど、さまざまな発表の活動を位置づけている。 - 帯教材Story Retellingでは、イラストと簡単な語句をヒントに、既習のUnitのストーリーの内容を自分の言葉で話すことで、即興で話す力を養うことができる。 - 学期のまとめの活動You Can Do It! に、Speaking モデル (動画)と、「テストにトライ!」(スピーキングテスト問題)を用意し、言語活動を行う際の参考にしたり、力試しとして取り組めるようにしたりしている。	1年 p.54、pp.128-129 など 1年 pp.132-139 など
⑤ 書く 	- Unitの各PartのWriteでは、Speakの活動で自分が話したことを書くことで、学習負担を軽減しながら書く力をつけることができるようにしている。 - 各UnitのGoalやYou Can Do It! では、自己紹介カード、ゲスト紹介の台本、日記、メール、観光プラン、学校新聞の記事、平和に関するレポート、AIに関する投稿についての意見、大切な人に宛てた手紙など、多様な形式で目的をもった自己表現を行えるようにしている。 1年巻頭の導入教材Let's Be Friends! に、アルファベットの書き方をふり返る動画を、You Can Do It! にはWriting モデル (PDF)を用意し、言語活動を行う際の参考として視聴できるようにしている。	1年 p.29 など 1年 pp.34-35、98-99 など

5 知識及び技能を養う

音声	- 各Unitの学習で基礎的な知識・技能を着実に習得できるように構成している。習得にあたっては、それに応じた言語活動を伴うように工夫している。 - Unitの各Partの脚注で、発音や強勢、イントネーション、区切りなど、英語らしく発音するポイントを丁寧に押さえている。 - 英語の「音と文字」の関係に気づかせ、英語を正しく読めるようにすることを狙った1年帯教材Sounds and Lettersでは、「音と文字」の関係について1年の前半で系統的に学習できるようにし、2、3年では「音声のまとめ」として整理している。	- Unit全体 - Unit全体 1年 pp.20-24、2年 pp.150-151、3年 pp.144-145
語	- 新出語のうち特に重要な語は赤字で示しており、受容語彙と発信語彙を区別した指導に役立つ。 - また、帯教材Active Wordsはカテゴリーごとに語彙が整理され、Unitの言語活動に関連づけて語彙を習得、活用でき、生徒が自分の言葉で話す意欲を高める工夫をしている。	全体：1年 pp.140-144 など
文構造及び文法事項	- 各Unitの基本本文のコーナーで文構造や文法事項を丁寧に説明するとともに、Active GrammarでUnit本文の中に出てきた表現を再提示し、言語の使用場面・意味・形という観点に関連のある文法事項を整理し、日本語との違いに気づきを促すことができるように配慮している。 - 各学年の巻末に「英語のしくみ」を設け、英語と日本語の違いを視覚的に捉えられるようにしている。 - 各Unitの基本本文には文法の解説動画が付属し、楽しみながら文法についての理解を深められる。	1年 p.29、pp.156-158 など Eri and Kotaと学ぶ基本文 (1年 p. 39) 

6 思考力・判断力・表現力を養う	● 目的や場面、状況に応じた思考・判断・表現ができるよう活動の設定を工夫し、見取りがしやすいよう思考・判断・表現をする主な活動にはアイコンを付記している。 ● 巻末に英語の学習に有用な思考法や思考ツールを具体例とともに紹介し、教科書中の関連ページとリンクさせることで目的に応じて活用できるようにしている。 ● 登場人物になりきってせりふの続きを考える You're the Writer!を設定し、ストーリーをもとに思考力・判断力・表現力を働かせる工夫をしている。	● 1年 pp.34-35 など ● 1-3年巻末④-⑤、1年 p.69 など ● 1年 p.64 など
7 主体的に学習に取り組む態度を養う	● 学年全体の目標や各教材の目標を明示するとともに、各UnitのGoalとYou Can Do It!にふり返りのコーナーを設けて、主体的に学習に取り組む態度を養うように工夫している。 ● 発達段階に応じ、動機づけと学びのサイクルの例を紹介した各学年の巻頭口絵や、領域別の学び方や活動への取り組み方、家庭での学び方などを紹介した英語の学び方ガイド、折り込み仕様で領域別の到達目標や目標に到達するまでの成長イメージを可視化したCAN-DO Listで自主的・自律的な学習に資するように工夫している。 ● 巻頭のICTを活用しようで、英語の学習に効果的なICT機器の活用方法を個別学習／協働学習の場面別に紹介し、GIGAスクール時代の英語学習を後押ししている。	● Unit扉上、Goal下、You Can Do It!右下 ● 1-3年巻頭①-④、1年 pp.145-153 など、1-3年巻末②-③ ● 1-3年巻頭⑤

2 ▶ 構成・配列・分量について

観点

1教科書全体の構成

内容と特色

- 3年間を通じて「**できるようになること**」を**系統的に設計**し、見通しをもって学習を進められるよう、**各学年・各学期・各教材の目標を構造化して明確に提示**している。また、**既習事項をスパイラル**に活用できるように**構成**されている。

1年	自分のことや日常生活について、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。	1学期	自分のことを伝え、相手のことをよく知る
		2学期	身近な人のことを紹介する
		3学期	イベントや学校を紹介する
2年	自分の町や地域、日本の文化などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。	1学期	相手に合うプランを提案する
		2学期	自分の意見や考えを伝える
		3学期	説明や描写をする
3年	これまでの自分のことや社会的な問題などについて、聞いたり読んだりしたことをもとに伝え合うことができる。	1学期	話し合いの中で意見をまとめる
		2学期	情報をもとに考えを整理して伝える
		3学期	大切な人や自分に宛てて気持ちを表現する

該当ページ例

- 全体：1-3年 pp.4-5、巻末①-③など



3年生ではどんなことをするのかな。(3年巻末①)

2主教材

① 3年間を貫くストーリー

- Unit本文は、日本人の中学生KotaとEri、ニューヨークからやって来たTina、韓国からの転校生Hajinの4人を中心にした**3年間ひと続きのストーリー**になっている。**4人の個性豊かな中学生が交流し成長していく物語**を通して、交流の楽しさ、思いやりの大切さ、心の成長などが、**自分のこととして共感**できるように配慮している。
- ストーリーの題材は、発達段階を考慮し、1年では夏祭りや初詣など、2年では外国旅行や防災教育など、3年では動物保護、平和学習、AIと言語学習など、**身近な題材**から徐々に視野を広げ、**社会のさまざまな問題**について考えを深められるよう配慮している。

② 言語習得理論に沿ったUnitの構成

- Unitは**扉→Part→Goal**という一貫した構成で、Unitの**目標(CAN-DO)**を具体化した**Goal活動**に向かって学習を進められるよう各活動が設定されている。
- 扉では、**Unitの目標を確認し、絵や写真から題材への興味づけ**を図り、ストーリーを推測しながら聞いて、**おおまかな内容を捉える**ことができるようになっている。
- Partは**左ページに本文、右ページに言語活動**という構成である。言語の使用場面が明確な本文で表現や文法事項をインプットし、Listen→Speak→Writeの順に設定された言語活動を通して、アウトプットする。この一貫した活動の流れが言語習得理論に沿っている。
- GoalはUnitの目標となるアウトプットを伴う言語活動で、理解したことを表現につなげる**技能統合的な言語活動**になっている。
- 扉とGoalに**目的・場面・状況**を明示し、Goalにはさらに**中間ふり返り(Idea Hunt)**の観点を示すことで、**目的・場面・状況に応じた思考・判断・表現**ができるように工夫している。

③ 思考力・判断力・表現力を養うYou Can Do It!

- 各学年3か所(各学期末)にまとめの活動として設けたYou Can Do It!は、**Unitの学習が定着するように系統的に構成**され、学習した**知識・技能を活用して、言語活動に取り組める**ようにしている。
- 「ゲストの魅力を伝えるMCになろう」「誰もが楽しめるイベントを提案しよう」など、**生徒が興味をもって取り組める目的・場面・状況を設定**している。
- 教材の構成は、「聞く」または「読む」から始まり、「話す」あるいは「書く」の表現活動に展開する。また、関連するUnitのGoal活動を示した**Look Back**で、既習のUnitの学習を活かした**思考・判断・表現**ができるよう工夫している。
- QRコードには、**言語活動のモデル映像や「テストにトライ!」(スピーキングテスト問題)**を収録。**家庭学習にも資するよう工夫し、自律的な学習者の育成に配慮**している。

Unit、You Can Do It!

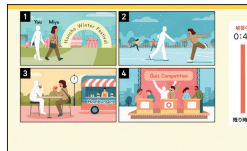
- Unit全体
- 1年 pp.46-54、2年 pp.49-57、3年 pp.8-17 など



共感できるストーリー (3年 p.24)

- Unit全体：1年 pp.26-35 など
- Unitの扉
- UnitのPart
- UnitのGoal
- Unitの扉、Goal

- You Can Do It! 全体：1年 pp.98-99 など



テストにトライ! (2年 p.87)

3 小教材	• Daily Life は、「道案内」、「空港のアナウンス」、「レシピ」など、実社会に即した場面や題材を取り上げ、実践的な英語の力を伸ばせるように配慮している。 • Let's Read は、段階的に読む語数を増やしながら、説明文・物語・インタビュー記事・日記など、さまざまな話題や形式の文章を読んで内容を理解し、目的に応じた英文の読み方を身につけられるよう、設問やヒントを工夫している。 • Active Grammar は、関連のある文法事項を整理して知識の定着を図っている。Unit本文の中で出てきた表現を再提示し、言語の使用場面・意味・形という観点で整理しており、Grammar Hunt では既習の Unit で文法を確認する活動を設定している。	• 1年 p.96、2年 p.40、3年 p.60 など • 1年 pp.126-127、2年 pp.82-85、3年 pp.40-43 など • 1年 p.95、2年 p.80、3年 p.96 など
4 帯教材	• Sounds and Letters は、英語の「音と文字」の関係に気づかせ、英語を正しく読めるようにすることがねらいで、小学校からの接続に配慮して1年に位置づけられている。 • Story Retelling は、場面を表すイラストと簡単な語句をヒントに、既習の Unit のストーリーの内容を話す活動を行う。ストーリーの内容を自分の言葉で話すことで、即興で話す力を養うことができる。 • Active Words は、カテゴリーごとに語彙を整理した教材で、各 Unit の言語活動との関連を示し、生徒が自分の言葉を選んで話す意欲を高める工夫をしている。 • Let's Talk! は、実生活で役立つ即興的なやり取りの力を育てるための教材である。1問1答から、2文以上で質問に答えるといった活動を継続的に行い、会話を続ける力を育むことができる。	• 1年 pp.20-24 • 1年 pp.132-139 など • 1年 pp.140-144、2年 pp.130-136、3年 pp.122-128 • 1-3年とじ込み
5 小中接続期教材	• 1年巻頭の導入教材 Let's Be Friends! では、小学校の既習事項を効率よく学習できるようにし、小学校から中学校の学習に円滑に接続できるようにしている。小学校の学習事項を生徒が確認できるとともに、指導者が生徒の習熟度を測るのに役立つ。	• 1年 pp.6-19
6 付録教材	• 巻頭口絵で「なぜ英語を学ぶのか」「どのように英語を学ぶのか」を紹介し、巻末の英語の学び方ガイドでは、領域別の学び方や活動への取り組み方、家庭での学び方などを紹介している。CAN-DO Listは、いつでも参照できるよう巻末に折り込み仕様で領域別に整理して掲載されている。「できるようになること」や目標に到達するまでの成長イメージが系統的に可視化され、自律的学習者の育成につながるよう配慮している。 • 巻頭の ICT を活用しようで、英語の学習に効果的な ICT 機器の活用方法を個別学習 / 協働学習の場面別に紹介し、GIGA スクール時代の英語学習を後押しする。 • 巻末に英語の学習に有用な思考法と思考ツールを具体的な活用例とともに紹介し、教科書中の関連ページとリンクさせることで目的に応じて活用できるようにしている。 • World Tourは、「世界の中学生」、「世界のいろいろな英語」、「世界がもし100人の村だったら」など幅広いテーマで豊富な映像資料に触れながら、多様な文化や価値観を学ぶことができる。 • 発展的な読み物教材 Let's Read Moreを各学年に設け、バラエティ豊かな文種や題材を選定し、無理なく豊富なインプットを確保できるよう構成している。 • 2、3年には、音声のまとめを設け、1年の Sounds and Letters の学びを発展させ、「発音とつづり」のルールを整理しやすくしている。 • 各学年の巻末に英語のしぐみを設け、英語と日本語の違いを視覚的に捉えられるようにしている。	• 1-3年巻頭①-④、1年 pp.145-153 など、1-3年巻末②-③ • 1-3年巻頭⑤ • 1-3年巻末④-⑤ • 1年 p.45、2年 p.48、3年 p.46 など • 1年 pp.130-131、2年 pp.120-121、3年 pp.106-107 など • 2年 pp.150-151、3年 pp.144-145 など • 1年 pp.156-158、2年 pp.146-148、3年 pp.140-143 など
7 教材配列の工夫	• Unit 本文は、3年間の生徒の生活を想定し、生徒が共感できるように配慮している。 • 各学年・学期の目標を設定し、それに応じた題材と言語活動が配列されている。 • 1年の1学期で助動詞 can や want to ~という表現を扱うなど、小学校で学習したことが中学校につながるように言語材料の配列を工夫している。	• 全体 • 全体 • 1年 pp.26-55
8 分量・語数・時数	• 各学年とも年間8Unitから成り、学習や指導のうえで無理がなく適切な分量である。 • 学習の対象となる総新語数は1,659語(1年426語、2年614語、3年619語)であり、そのうち発信語彙の目安となる重要語484語を設定している。他に、小学校の既習語578語(うち重要語417語)をくり返しの学習語として設定している。 • 指導時数の目安を、1年100時間、2年103時間、3年95時間とし、地域や学校、生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、余裕をもたせている。	• 全体 • 全体 • 全体

3 ▶ 今日的な教育課題への対応

観点	内容と特色	該当ページ例
1 主体的・対話的で深い学びの実現	• Unit扉には当該Unitで身につける力をGoalとして明示し、各UnitのGoalとYou Can Do It!には、ふり返りのコーナーを用意することで現在の自分の達成度を評価するとともに、次の言語活動への意識づけもする工夫をし、主体的な学びを進められるよう配慮している。 • UnitのPart右ページ下のLet's Chatでは、トピックに関する簡単な問いかけを用意して思考を促し、友達や先生と対話をしながら考えを深めることができるようにしている。 • ストーリーの続きや別エピソードを楽しめるExtra Storyと、登場人物になりきってせりふの続きを考えるYou're the Writer!で思考・判断・表現の力を高める工夫をしている。 • 言語活動では、生徒が自らの力で学びを進められるよう、学習のはしごかけにあたるキャラクターのセリフ(TIP)を入れたり、既習事項に戻って漆塗りのように学びを積み重ねるための Idea HuntやLook Backを設けたりしている。 • 4技能5領域別の学び方や辞書の使い方の他、粘り強く言語活動に取り組むためのTIPを紹介する英語の学び方ガイドを各学年の巻末に設け、主体的かつ継続的に学ぶ姿勢をもった自律的学習者の育成に資するようにしている。	• 1年 p.35、pp.58-59 など • 1年 p.29 など • 1年 p.32、64 など • 1年 p.33、44、99 など • 1年 pp.145-153、2年 pp.137-145、3年 pp.129-137

2 国連の持続可能な開発目標 (SDGs) への対応



● 発達段階に合わせた **SDGsの目標に関連する題材**を豊富に用意している。

- 1 貧困をなくそう：3年 Unit 5 “My Dreams for the Future” など
- 4 質の高い教育をみんなに：3年 World Tour 2 “If the World Were a Village of 100 People” など
- 5 ジェンダー平等を実現しよう：3年 Unit 5 “My Dreams for the Future”
- 8 働きがいも経済成長も：3年 Let's Read 2 “Living with Robots” など
- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう：3年 Unit 4 “AI Technology and Language” など
- 10 人や国の不平等をなくそう：2年 You Can Do It! 2 「誰もが楽しめるイベントを提案しよう」 など
- 11 住み続けられるまちづくりを：2年 Unit 5 “How Do We Stay Safe?” など
- 12 つくる責任つかう責任：3年 Daily Life 4 「講演」 など
- 13 気候変動に具体的な対策を：3年 Let's Read 3 “Changing the World”
- 14 海の豊かさを守ろう：3年 Daily Life 4 「講演」
- 15 陸の豊かさを守ろう：3年 Unit 1 “Virtual Safari Tour”
- 16 平和と公正をすべての人に：3年 Unit 3 “Lessons From Hiroshima” など
- 17 パートナリーシップで目標を達成しよう：3年 You Can Do It! 2 「持続可能な社会に向けリポートしよう」 など

単元系統一覧表

- 3年 pp. 61-69
- 3年 p. 84
- 3年 pp. 61-69
- 3年 pp. 56-59
- 3年 pp. 47-55
- 2年 pp. 86-87
- 2年 pp. 59-67
- 3年 p. 70
- 3年 pp. 92-95
- 3年 p. 70
- 3年 pp. 8-17
- 3年 pp. 29-37
- 3年 pp. 82-83

3 カリキュラム・マネジメントへの対応

- 教科横断的な観点から、**国語、社会、美術、音楽などの教科との関連**を図れるようにしている。巻末付録の**思考の地図**では、主に国語で学習する**思考法や思考ツールの英語での活用方法を紹介し**、世界各国の地理や文化を取り上げる World Tour で社会との関連を、Daily Life の「オンラインツアー」で美術との関連を、2年の付録 Find Your Favorite Songs や Let's Read More 2 “Ainu, My Voice” など音楽との関連を図ることができる。
- 環境問題、安全・防災、インクルーシブ教育、我が国の郷土や伝統文化、修学旅行などを題材として取り上げ、**学校の教育活動や目標との連携**を図れるようにしている。
- 複数の帯教材を設け、短時間の帯活動を組み合わせた**柔軟な授業計画の設定**を可能にしている。

- 1-3年巻末④-⑤、1年 p.124、2年 p.111、3年 p.84など、2年 p.30、pp.88-89、120-121

- Unit 全体
- 全体

4 生徒が英語にくり返し触れる工夫

- **小学校で学習した表現や文型・文法事項を中学校の早期段階で再び扱うように設計**し、基本的な表現をくり返し活用し確実に定着できるようにしている。
- 帯教材 **Story Retelling** を設け、既習の Unit のストーリーにくり返し触れ、**自分の言葉でその内容を伝えることができる**ようにしている。
- **Active Grammar** の **Grammar Hunt** で、既習の英文を読み直して**文法事項を確認する**活動を通して、教科書にくり返し触れられるようにしている。
- 2、3年の冒頭に **Play Back the Story** を設け、**音声を通して前学年のストーリーにくり返し触れられる**ようにしている。

- 1年 全体
- 1年 pp.132-139 など
- 1年 pp.56-57 など
- 2、3年 p.7

5 小中連携

- **小学校で既習の語彙や表現、文法事項には、桜マークを付し**、小学校で学習してきた内容であることを意識した効果的な指導が行えるよう工夫している。**小学校の学習語 (600～700語) のうち 578語を、くり返し学習できるように設定**している。
- 1年に **Let's Be Friends!** を設け、**小学校での英語の習熟度を見取**ることができるようにするとともに、Smile、Eye Contact、Clear Voice、Response の**いつも「たいせつ」**を示し、コミュニケーションの鍵として小学校から引き続き意識できるようにしている。
- 1年に帯教材 **Sounds and Letters** を設け、小学校で音声中心に学習してきた生徒が、**音と文字の関係を確認しながら、文字を読む力を付けられる**ように配慮している。

- 全体
- 1年 pp.6-19
- 1年 pp.20-23

6 中高連携

- Goal や You Can Do It! を中心に、**複数の資料や図表の読み取り**を含む言語活動や**スピーキングテスト問題**を用意し、高等学校以降も求められる思考力・判断力・表現力を養えるよう設計している。
- 3年の**英語の学び方ガイド**で、**将来に向けた学び方を提示**し、長期的な目標をもちながら中学校卒業後も継続的に英語学習に取り組めるよう促している。

- 3年 pp.44-45、68-69 など
- 3年 pp.129-137

7 地域との連携

- 学期末のまとめ活動である You Can Do It! では、学校PR動画作りや郷土かるた作りなど**自分の学校や地域の魅力を伝え合う言語活動**を多く位置づけている。

- 1年 pp.128-129、2年 pp.116-117 など

8 安全・防災教育

- 2年 Unit 5 では防災ポスターを取り上げ、災害から身を守るための注意事項を確認したり、**防災バッグの中身を考**えたりする活動を通して、安全・防災への意識を高められるように配慮している。

- 2年 pp.59-67

9 スポーツ教育

- Unit の題材として、車椅子テニスの選手との交流や校内球技大会などを取り上げるとともに、2年の Let's Read に**フィギュアスケーター羽生結弦さんのインタビュー**を収録し、スポーツのもつ魅力や意義が感じられるようにしている。

- 1年 pp.72-81、2年 pp.19-27、82-85 など

4 ▶▶ 題材の選定

観点	内容と特色	該当ページ例
1 多様な考え方を理解し、公正な判断力を養う	● 3年の You Can Do It! 1 で海外の中学生たちの学校生活についての 意見を読んで賛否とその理由を伝え合 ったり、3年 Unit 4 でAIと外国語学習についての 投稿文を読んで自分の意見を書 いたりする活動を通して、多様な考え方を理解し、公正な判断力を養うことができるように配慮している。	● 3年 pp.44-45、47-55
2 伝統文化を尊重し、国や郷土を愛する心を育てる	● 1年 Unit 7 で外国人の級友と初詣に行き、日本の伝統文化を紹介したり、3年 Unit 2、3 で京都・広島へ修学旅行に行ったりするなど、 ストーリーから伝統文化や郷土の魅力に触れられる よう工夫している。 ● 2年 You Can Do It! 1 では、「 わが町観光プラン 」の提案を行い、2年 You Can Do It! 3 では、地域の魅力をPRするための かるた作り を行うなど、郷土の魅力を発信する活動を設定している。また、日本の文化である 食品サンプル や、 アイヌ文化の普及に努める女性 を題材にした読み物などを掲載し、国や郷土を愛する心を育てることができるよう工夫している。	● 1年 pp.100-111、3年 pp.19-27、29-37 ● 2年 pp.46-47、116-117、118-119、120-121 など

3 国際理解を深め、国際協調の精神を養う	1年の導入教材 Let's Be Friends! では、映像を通して実在する世界の中学生に触れ、リアルな異文化情報を身近に感じることのできる工夫をしている。 - 付録教材 World Tour は発達段階に応じて国際理解を深めることができるよう、多様なジャンルの題材を取り扱っている。 1年 世界の中学生（学校生活/1日の過ごし方） 2年 English Around the World（世界のいろいろな英語）など 3年 If the World Were a Village of 100 People（世界がもし100人の村だったら）など 1年 Unit 5 の「アメリカの高校生活」、2年 Unit 4 の「海外旅行」、3年 Unit 1 の「バーチャル・サファリ・ツアー」など、Unit の題材も国際理解を深めるのに適した題材を多く選定している。	1年 pp.6-19 1年 p.45、124、2年 p.48、90、111、3年 p.46、84 1年 pp.72-81、2年 pp.49-57、3年 pp.8-17 など
4 個人の価値を尊重し、人権を大切にする意識を育てる	1年 Unit 5 と 2年 Unit 3、4 では車椅子テニスの選手が登場人物の幼なじみとして登場する。人物設定も、個人の価値を尊重し、だれもが参画できる社会を作ろうとする姿勢を育てるようにしている。 3年の Let's Read 2 "Living with Robots" で、障害をもつ人の社会参画を助けるロボットを取り上げ、人権を大切にする意識を育てるようにしている。	1年 pp.72-81、2年 pp.49-57 など 3年 p.56-59
5 キャリア教育	3年の Unit 5 では将来の夢を題材にし、適切な勤労観・職業観が育まれるように配慮している。	3年 pp.47-55

3 使用上の配慮・工夫

1 ▶ イラスト・音声・映像などの配慮や工夫

観点	内容と特色	該当ページ例
1 イラスト・写真	- 大判のイラストや、はっきりした写真を用いて、インパクトのある紙面構成となるよう配慮している。1年の Unit 扉は見開き 2 ページの構成で、題材への興味づけを図るのに役立つ。 - イラストや写真に登場する人物は性別による偏りがないようにするとともに、人種や身体的特徴などについても、多様性に意を用いている。	- 全体、1年 pp.46-47、100-101 など - 全体
2 音声・映像	- Unit 本文は、コミュニケーションの目的・場面・状況を理解しやすくするために、音声に加えて、スライドアニメや実写のドラマ映像、ピクチャーカードを並べかえるデジタルコンテンツを用意している。 - 音声や映像、リンク集など、学習を広げ深めるコンテンツを、紙面に付した QR コードを通して無償で利用できるようにし、家庭学習にも活用できるようにしている。	- Unit 全体、1年 p.27 など - 全体

2 ▶ デザインや製本上の観点から見た配慮や工夫

観点	内容と特色	該当ページ例
1 特別支援教育	- 特別支援教育の専門家の校閲を受け、全ての生徒にとってわかりやすく、読みやすい教科書になるよう配慮している。 - 各 Unit の紙面構成が統一されており、同じ種類の情報を決まった位置に配置し、生徒が迷わずに学習に取り組めるよう配慮している。 - 拡大教科書を発行し、すべての生徒に教育の機会均等を保障している。	- 全体 - Unit 全体
2 カラーユニバーサルデザイン	- カラーユニバーサルデザインの専門家の校閲を受け、色覚特性をもつ生徒が学習に支障を来すことがないように配慮している。 - 文構造や文型の整理にあたって主語と動詞の囲みを色だけでなく形でも識別できるようにし、色覚特性をもつ生徒に配慮している。	- 全体 1年 pp.56-57 など
3 文字の書体・大きさ・文字組等	- アルファベットの文字について、特に入門期においては書きやすい 5：9：5 の比率の 4 線の幅に対応し、かつ識別しやすい形の新しいフォントを独自に開発して使用している。 - 発達段階や教材の内容に応じて、文字の種類や大きさ、文字組を調整することで、さまざまな種類の英語の書体に徐々に慣れていけるように配慮している。 - 吹き出し等の日本語の文字は、視認しやすいユニバーサルデザインの書体を使用している。	1年 pp.18-19 など - 全体 - 全体
4 表記・表現	中学校の配当漢字には全て振り仮名を付し、日本語の読みの負担を軽減する配慮をしている。	全体
5 印刷・製本	- 判型については、横組みの文字が読みやすく、紙面を視覚的に大きく見せることができる横幅の広い AB 判を採用しており、読みやすさ、見やすさに配慮している。 - 表紙は耐久性のある PP ラミネート加工を施しており、折れにくく汚れにくい。 - 製本は堅牢で長期間の使用に耐えられる。中央が最大限開くとじ方になっている。 - 本文用紙は、軽くて裏写りしにくい紙を使用している。原料や製法については、環境への負担を少なくし、生徒の健康にも配慮している旨が明記されている。 - 環境と健康にやさしいエコマーク認定の植物油インクで印刷されている。 - 帯教材 Sounds and Letters では両観音開きの製本を採用し「アルファベット」と「音と文字」の学習を効果的に関連づけるとともに、教科書を折って単語を読む練習ができるよう工夫している。 - 帯教材 Let's Talk! では本文より短い寸法の紙を用い、相づちや感想などの大切な表現が常に目に入るよう工夫している。	- 全体 - 表紙 - 全体 - 全体 - 全体 1年 pp.18-23 1-3 年とじ込み